

# 海外研修成果を報告

名大生 タイの工場など訪問

タイとシンガポールを今年九月に海外研修旅行した名古屋大経済学部三年生九人による成果報告会が五日、千種区の名古屋大で開かれ、学生たちは「国際的に活躍するには、語学や優れたビジネス感覚が重要」と感想を述べた。

旅行をしたのは、世界で活躍できる人材育

成を目的に二〇〇九年度から始まった「グローバル人材育成プログラム」で優秀な成績を収めた学生たち。八日間で、タイにあるトヨタ自動車、デンソーの工場やシンガポールの野村証券などを訪問。報告会では、それぞれ順に現地で学んだことを発表した。

松原大地さん（経営

学科三年）は「『英語は大切。しかし、英語はできるが、仕事ができない人が最も求められていない』と教えられた」と説明。橋本彩希さん（経済学科三年）

は「商社の昔の海外拠点は対日貿易がほとんどだったが、今はインドや中国などへの投資や近隣国間の物流を手がけていると知った」と話していた。